



## 車のキズ、心のキズ

---

タケオさんの仕事は、セールスドライバー。宅配便で荷物をたくさんの家に届ける仕事です。荷物の配達に休みの日はあまりありません。

タケオさんには二人の小学生の女の子がいて、この夏休みは大好きなお父さんとキャンプに行く約束を楽しみにしています。

タケオさんもそんな家族が大好きです。

そんなタケオさんの趣味は、車を磨くこと。いつも車をピカピカにしながら、この車で大好きな家族と旅行に行くのを想像するのです。

そんなある日、大切な車にキズがあるのを発見しました。タケオさんは心が折れそうなほど傷つきました。そしてそれは、駐車場の近くにある障がい者の施設に通う人が、蹴ってつけた傷だと知りました。施設の職員からの手紙が、車のフロントガラスにはさんであったからです。

でもタケオさんは、心の優しい人。だからそれを許そうと思いました。

しかししばらくすると、また車のキズ。そして今度はもっと大きな傷です。タケオさんはもともと車が好きで、ピカピカに磨いた車で、家族と旅行に行くのを楽しみにしていました。

子供たちと約束しているキャンプは、あと数日。車を修理に出したら、この車でキャンプに行くことができません。

タケオさんは、最初に車を蹴られた時、蹴った人のことを許してしまったことを後悔しました。子供たちに「このキズはどうしたの？」と聞かれたらどう答えようか……。車を修理に出して、違う車でキャンプに行くことになって、「パパの車はどうしたの？」と聞かれたらどう答えようか……。

タケオさんは決心しました。家族に本当のことを言いました。「興奮して暴れちゃった人が、パパの車を蹴ったんだよ。でももうしないって信じたから、パパは許すことにしたんだよ。」

子供たちは、とても悲しい気持ちになりました。パパがどれだけ車を大事にしていつもピカピカにしているかを良く知っているからです。でもパパの優しい気持ちも伝わりました。パパのその気持ちで、子供たちはまた嬉しく思いました。

キャンプ当日、家族は予定通りパパの車で出発しました。

車とみんなの心に、小さなキズを残しながら。それでもみんなの優しい気持ちで満たされながら、パパの車は走っていきました。